

高耐候性屋根用塗料

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
内装仕上げの制限なし

●水系アクリルシリコン樹脂塗料

水性ベスコロ

防かび性
防藻性
高耐久

高光沢
安全性



一液シリコンパワー



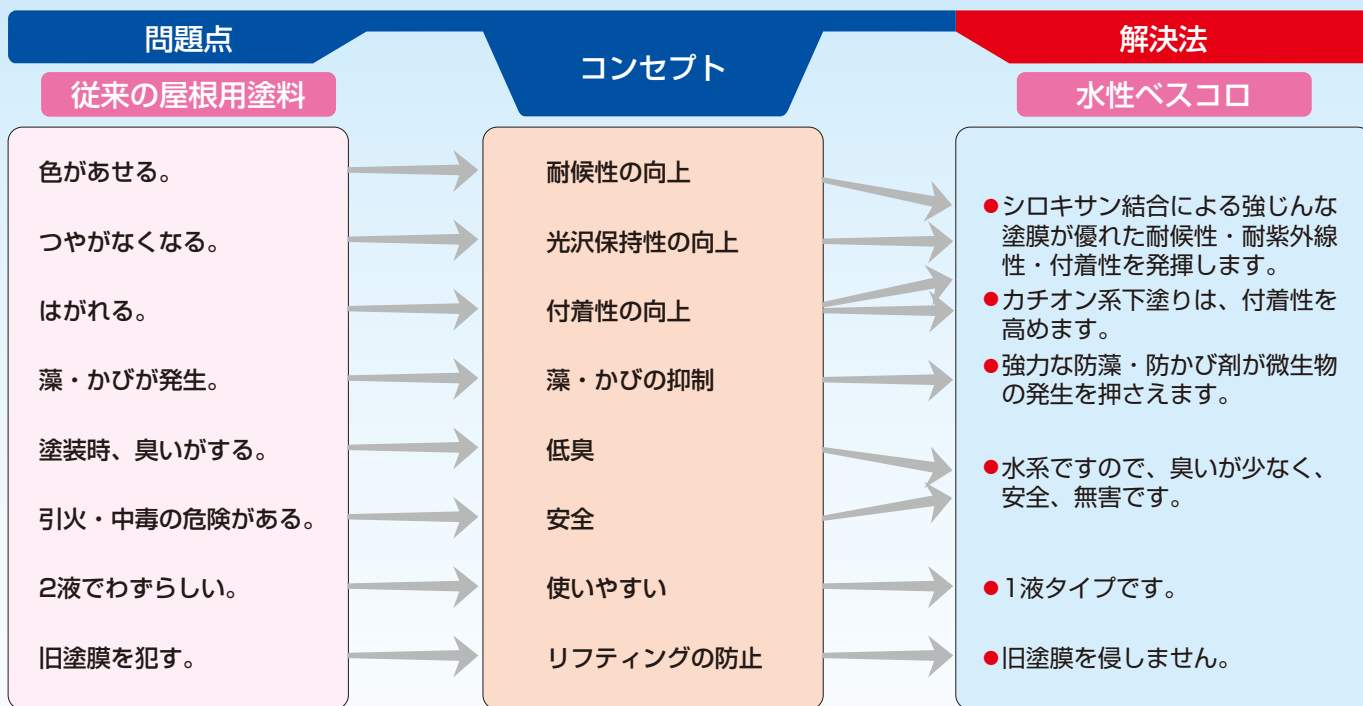
水性ベスコロは、近年、住宅に多用されています。新生瓦（カラーベスト・フルベストなど）・セメント・カラートタンなど、屋根の塗替用に開発した水系アクリルシリコン樹脂塗料です。水性ベスコロは、卓越した耐候性があるアクリルシリコン樹脂の採用で過酷な自然条件にさらされる屋根を保護します。また、水系ですので使いよい、環境にやさしい塗料です。

高耐候性用塗料

●水系アクリルシリコン樹脂塗料

水性ベスコロ

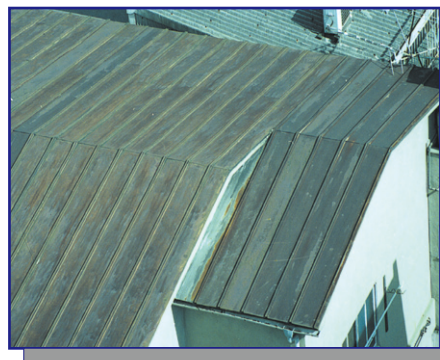
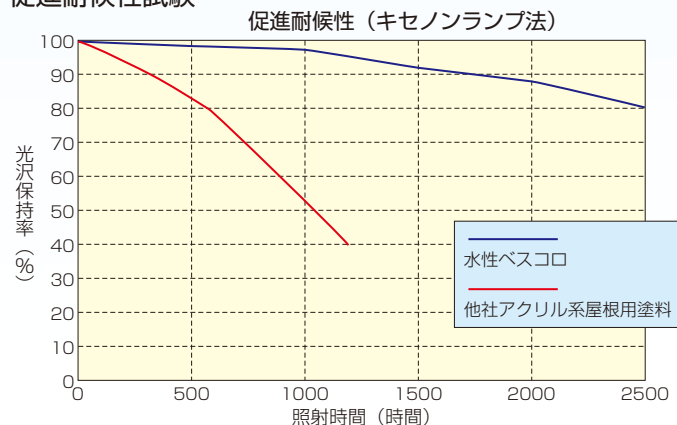
- アクリルシリコン樹脂が優れた耐候性、光沢、色持ちを発揮します。
- 使いやすい一液で、塗装作業性が良好です。
- 水系のため、作業面が安全で、旧塗膜をリフティングさせません。
- 下塗りは、カチオン系で、付着性に優れています。



塗膜性能

試験項目	試験成績	試験方法
鏡面光沢度	70~80	60度鏡面光沢度
耐水性	異常なし	水に10日間浸漬
耐アルカリ性	異常なし	水酸化カルシウム飽和液に7日間浸漬
耐湿潤冷熱繰返し性	異常なし	JIS K 5600-7-4による。
凍結融解試験	異常なし	ASTM・100サイクル
促進耐候性	異常なし	キセノンランプ法2500時間
防かび性	異常なし	JIS Z 2911による。
防藻性	異常なし	寒天培地法による。

促進耐候性試験



●新生瓦(カラーベスト・コロニアル/フルベスト)屋根 ●波形スレート屋根

1.素地の劣化が軽微な場合の塗装仕様

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●素地表面のぜい弱層・劣化している旧塗膜・ごみ・汚れなどを高圧水洗で、除去する。(特に新生瓦の場合、板と板とのすき間は入念に清掃する。) ●素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。) ●波形スレート屋根の場合、フックボルトなどにエポマイルドをはけで拾い塗りする。					
2	下塗り	水性ベスコロ下塗	100	0.15~0.20	1	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り	水性ベスコロ 清水	100 3~10	0.12~0.15	2	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

- 下塗りには、必ず専用の水性ベスコロ下塗をご使用ください。
- 新設後、半年以内の新しいスレートの場合、十分な高圧洗浄ができない場合、素地の劣化が著しい場合は、水性ベスコロ下塗の使用を避けてください。

2.素地の劣化が著しい場合の塗装仕様

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●素地表面のぜい弱層・劣化している旧塗膜・ごみ・汚れなどを高圧水洗で、除去する。(特に新生瓦の場合、板と板とのすき間は入念に清掃する。) ●素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。) ●波形スレート屋根の場合、フックボルトなどにエポマイルドをはけで拾い塗りする。					
2	下塗り	ワイドシーラーEPO	100	0.10~0.17	1	4時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り	水性ベスコロ 清水	100 3~10	0.12~0.15	2	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

- 下塗りには、ピナクルシーラーも使用できます。尚、使用時にはスズカシンナー#1000で希釈(10~30%)をして、塗装してください。

●セメント瓦屋根

1.塗装仕様

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●素地表面のぜい弱層・劣化している旧塗膜・ごみ・汚れなどを高圧水洗で、除去する。 ●素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。)					
2	下塗り	ラフтонカチオンフィラー 清水	100 13~20	0.7~1.0	1	48時間以上	吹付け はけ塗り
3	上塗り	水性ベスコロ 清水	100 3~10	0.12~0.15	2	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

※ラフтонカチオンフィラー混合比
ラフтонカチオンフィラー (粉体)20kg
ラフтонカチオンフィラー (混和液)10kg
清水4~6kg } 混和手順および吹付け要領などはカタログをご参照ください。

- 下塗りには、カチブラエアレス、ベタールーフも適応可能です。
- 乾式洋瓦(モニエル瓦、スカンジナビア瓦など)や陶器瓦には塗装できません。

●トタン、カラートタン

1.塗装仕様

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●トタンの発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、ペーパーなどを用いて入念に除去する。(2種ケレン) ●花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮スキ、サンダー、ブラシで除去する。 ●油脂類はシンナーで拭き取る。 ●素地表面の汚染付着物は高圧洗浄機による水洗いで清掃する。 ●素地は十分に乾燥させる。					
2	下塗り	エポマイルド	100	0.12~0.16	1	16時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り	水性ベスコロ 清水	100 3~10	0.12~0.15	2	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

- フックボルト部、トタンの折り曲げおよび接合部分などで、エポマイルドの塗膜が薄くならないように注意してください。

塗装上の注意事項

- 素地調整は入念に行ない、素地を、十分に乾燥させてください。素地調整、乾燥が不十分で塗装しますと、ふくれ、はがれ、割れなどの原因になります。
- 塗付量が少ないと十分な塗膜性能が得られませんので、標準塗付量を厳守してください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 塗装は天気の良い日を選び、塗装後に降雨・急冷・結露の恐れがある場合は、塗装を避けてください。
- 水洗い時の屋根は、滑りやすいので足元にご注意ください。
- エアレス塗装の場合、エアレス機の中に溶剤が残っていると詰まりますので、予め水をよく通してからご使用ください。
- 高圧水洗やエアレス塗装時の飛散ミストは、トラブルの原因になりますので、十分にご注意ください。
- 塗装用具は、塗装後直ちに洗浄してください。
- 塗装後3～5時間位は、絶対に雨に合わないよう、また山間部などで、夜露が早く降りる地域では、塗装を早めに終え、乾燥時間を確保してください。
- 新生瓦の場合、水切り部で上下の板が塗料で付着している箇所は、皮スキなどで縁切りをしてください。
- 水性ベスコロ下塗はカチオン系です。一般の水系塗料と絶対に混ぜないでください。また、一般の水系塗料に用いたはけ・ローラーなどの塗装用具を共用されますと固まる場合がありますので避けてください。
- 塗膜上に鳥の糞、砂、泥、有機物（木の葉）、金属（くぎ）などを放置すると、塗膜に変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。
- 常時、高温、高湿度になる箇所や、酸性・アルカリ性物質が当る箇所は劣化が早くなる可能性があります。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
 - 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
 - 皮膚に付着した場合には、直ちに石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けてください。
 - 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
 - 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
 - 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
 - 容器は密封し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記場所での保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当る場所・高温多湿の場所・潮風の当る場所・凍結の恐れのある場所など
 - 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。
 - 詳細な内容が必要なおときには、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。
- ワイドシーラーEPO、ピナクルシーラー、スズカシンナー#1000、エポマイルドを用いる場合は、上記の取扱上の注意事項と、下記事項を合わせて、注意してください。
- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
 - 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
 - 取扱作業場所には、局所排気装置を設けてください。
 - 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
 - 臭いは、食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
 - 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
 - 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器、または粉末消火器を用い初期消火をしてください。

標準色

オーシャンブルー、スカイブルー、コバルトブルー
ナスコン、グリーン、ディーブグリーン
レッドブラウン、ニューチョコレート、こげ茶、ブラウン、カカオブラウン
ニューグレー、ダークグレー、黒、メタリックB、シルバーブラック

◎調色も承ります。

容量

水性ベスコロ……………15kg
水性ベスコロ下塗……………14kg



スズカファイン株式会社

営業本部 ☎510-0101 三重県四日市市桶町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
技術本部 ☎510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5661-2211	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		
仙高出張所 ☎0224-82-1633	郡山出張所 ☎024-956-3306	新潟営業所 ☎025-271-2345
北関東営業所 ☎0493-57-0020	千葉出張所 ☎043-486-0096	多摩出張所 ☎042-581-2155
金沢営業所 ☎076-267-1922	静岡営業所 ☎054-236-0825	三重出張所 ☎059-397-6115
平野営業所 ☎06-6791-6291	播磨営業所 ☎0791-67-1468	松山出張所 ☎089-905-6733
熊本出張所 ☎096-237-3342	宮崎出張所 ☎0985-50-6840	鹿児島出張所 ☎099-264-3661
沖縄営業所 ☎098-884-6054		

取扱店